

防犯設備士監修

# 防犯カメラ 導入・活用e-book

## CONTENTS

### 防犯カメラってどんなもの？

●現代防犯カメラ事情

犯罪抑止・捜査に大きく貢献。その他のメリットも！

どんなタイプのカメラをお探しですか？

目的に合わせてカメラを選択・設置！

### 具体的な防犯カメラの選び方・設置事例

感染症対策もご紹介！

活用事例① オフィス

活用事例② 店舗

活用事例③ 飲食店

活用事例④ マンション・寮

活用事例⑤ 駐車場

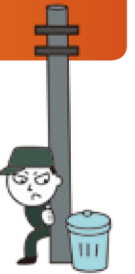
活用事例⑥ 商店街

### ●現代防犯カメラ事情

## 犯罪抑止・捜査に大きく貢献。その他のメリットも！

近年防犯意識の高まりから、まちの至るところで防犯カメラを見かけるようになりました。

防犯カメラがあることで犯罪抑止効果や犯罪や事故が起きた際に解決の手がかりとなることが期待されます。最近ではマーケティングへの活用など幅広く利用されるようになってきています。



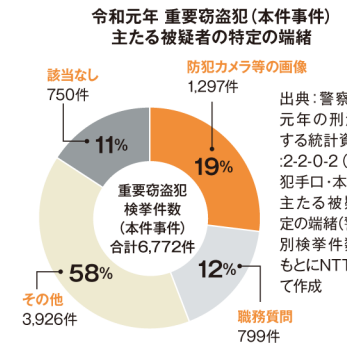
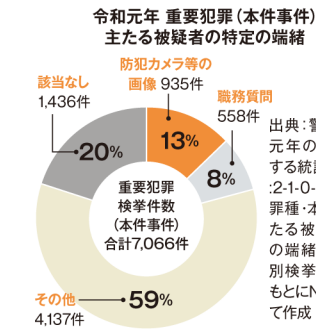
### 防犯カメラの効果

#### 防犯カメラ画像が被疑者特定の手助けに！

警察庁が発表した「令和元年の刑法犯に関する統計資料」によると、防犯カメラ等の画像が被疑者特定の一助となっていることがわかりました。当資料によると、重要犯罪（殺人、強盗、放火、強姦性交等、強制わいせつ、略取誘拐・人身売買）および重要窃盗犯（侵入窃盗、自動車盗、ひったくり、すり）の本件事件のうち、防犯カメラ等の画像が被疑者

特定のきっかけになったケースが、ともに10%を超え、職務質問がきっかけとなった件数を上回っています。なかでもひったくりは、検挙された310件のうち103件が防犯カメラ等の画像がきっかけとなっており、全体の33%にも上りました。防犯カメラの画像が被疑者特定、事件解決につながり、「安心」「安全」なまちづくりにひと役買っています。

出典：警察庁「令和元年の刑法犯に関する統計資料」



### 防犯以外にもこんな使い道が！

防犯カメラの設置が浸透し、カメラの性能・技術が向上している昨今、その活用の幅が広がっています。映像を事後に確認するだけでなく、リアルタイムに人や物の流れを把

握することでマネジメント等にも活用する動きが高まっています。防犯、監視だけでなくビジネスへの活用へと広がり、ますます利用価値が高まっていくと考えられます。

生産管理

作業の無駄をなくし、  
効率アップ！

スタッフ  
マネジメント

スタッフの適切な配備や  
スキル向上に！

マーケティング

客層や回転率が  
把握できる！

経営管理

在庫状況が  
ひと目でわかる！

マナー向上

不法投棄や  
いたずら防止に役立つ！

トラブル  
防止・解決

レジや注文などの  
トラブルに！

進捗報告

建設の進捗を  
施工主が確認できる！

ライブ映像  
配信

観光地の見どころや  
開花状況をPR！

#### 感染症対策にも！

混雑検知や発熱検知、遠隔監視などのカメラの機能を活用すれば  
新型コロナウイルス感染症対策にも活かされます。

混雑検知

AIによる画像解析により、混雑  
状況を見える化し三密を回避

発熱検知

サーモカメラによる迅速な体温  
測定で、発熱者を発見

遠隔監視

カメラ映像を離れた場所から確認  
できるため、現地に行く機会が減  
り、接触によるリスクを軽減

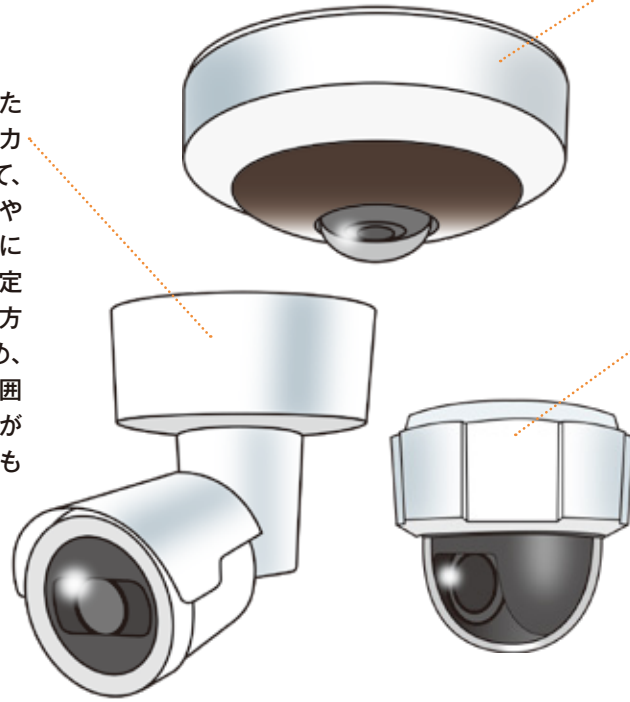
# どんなタイプのカメラをお探しですか？

防犯カメラをいざ設置しようとする、と、たくさんのカメラがあり、どれを選べば良いのか迷ってしまいます。まずは、どんなカメラがあるのか、形状・機能や、データの保存方法による違いを知り、自分にとって必要なカメラがどれなのか知っていきましょう。

## ●形状・機能で分かれる3種類

### BOX型

見た目に存在感があるため、犯罪抑止効果が高いカメラです。用途に応じて、広角に撮影できるカメラやズーム機能のあるカメラにすることで撮影範囲を設定できます。撮影方向は一方向に固定されているため、複数設置することで広範囲をカバーでき、防犯効果が高まります。バレット型とも呼ばれます。



### ドーム型

丸型のデザインで空間になじみやすく、カメラの存在を意識させたくない店舗やマンション等への設置に適しています。どの方向を撮影しているかわかりにくいというメリットもあります。

### PTZ型

遠隔操作により、レンズをパン（水平回転）、チルト（垂直回転）、ズーム（拡大・縮小）できます。撮影範囲を自在に変えられるため、時間帯や用途により撮影範囲を変えたい場合や、監視員が常駐している場合に有効です。旋回中に死角ができてしまうので、固定カメラと併用すると安心です。

## ●こんな便利機能付きカメラも！

### 逆光対応 [ワイドダイナミックレンジ(WDR)]

逆光により白飛びや黒つぶれが起き、被写体が見えなくなるという問題を軽減します。

### 全方位カメラ

1台で360°撮影できるドーム型の防犯カメラです。死角なく撮影でき、設置台数が抑えられます。

### 音声録音

基本的に録音はレコーダーで行いますが、マイクやスピーカーを内蔵し、録音や再生ができるカメラもあります。

## ●さらにそれぞれ屋外用と屋内用がある

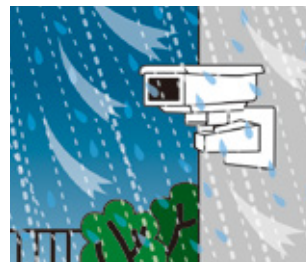
### 屋外用の機能・特徴

#### ■防塵・防水

雨や風に耐えられるよう防塵・防水機能が付いています。

#### ■赤外線照明付きデイナイト型

赤外線照明付きデイナイト型カメラは、日中はカラーで撮影し、ある一定の照度を下回ると、ナイトモードに切り替わり、近赤外線を利用して高画質の白黒映像となります。



## ●2種類のデータ保存方法

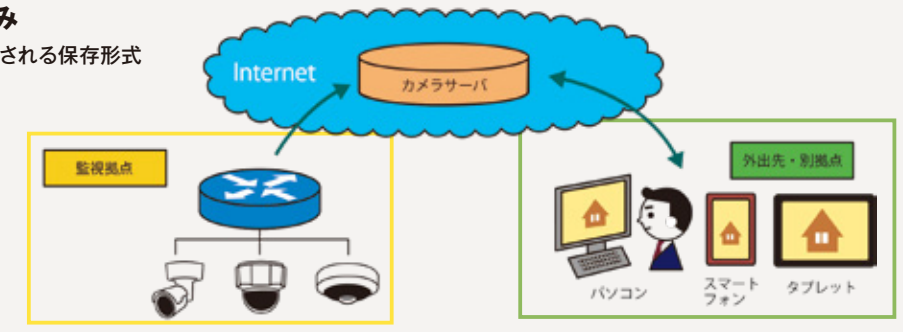
映像の保存方法には、以下の2つがあります。保存方法により映像が利用できる範囲が変わるので、用途に合わせて保存方法を選択します。

### クラウド保存

映像データがクラウド上に保存されます。インターネット環境があれば、パソコンやスマートフォンなどで遠隔地からも映像が見られます。録画用のレコーダー機器が不要なため、その分の購入コストや設置スペースを削減できます。

#### クラウド保存の仕組み

今後、急速に増えると想定される保存形式



クラウド保存  
ここが



レコーダー機器の  
購入が不要

レコーダー設置の  
必要がないため、  
省スペース

レコーダー破損・  
盗難によるデータ  
消失リスク軽減

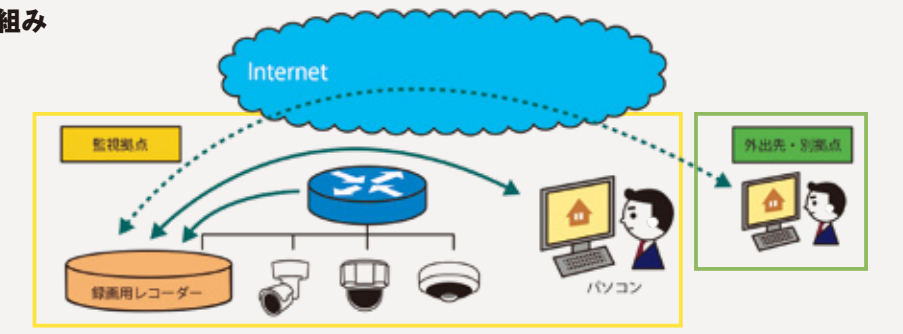
利用状況に合わせ、  
保存日数を  
柔軟に選択・変更可

映像がクラウド上に  
あるので、AI分析等の  
導入が簡単

### レコーダー保存

防犯カメラで撮った映像をカメラ設置場所のレコーダーに保存します。録画用のレコーダー機器が別途必要です。

#### レコーダー保存の仕組み



レコーダ保存  
ここが



目的やデータ容量に応じて  
コマ数や解像度を調整できる

#### ●フレームレートの設定

### 防犯カメラ映像は1秒30コマあると安心

動画は、膨大な枚数の静止画によって構成されていますが、1秒間に構成するコマ数をフレームレートといいます。映画は1秒間に24コマ、テレビ放送は30コマ程度です。1秒5コマ以上が推奨されていますが、30コマあれば、テレビのように鮮明な映像になるため、状況の確認や把握に有効です。





# 目的に合わせて カメラを選択・設置!

防犯カメラを設置する場合、何を、どのように、どのくらいの大きさを撮りたいのか、目的に合った映像が撮れるよう、カメラを選択、設定していく必要があります。防犯カメラの撮影範囲にどれくらいの大きさを人物が撮影できているかを示す状態を画角といいます。撮りたい画角で撮れるよう目的に合ったカメラの選び方・設置の仕方をガイドします。

## 目的別! 被写体の大きさ4パターン こんなときには、この大きさを撮る!

人物の顔まで確認したいとき



ATMを操作する人物の顔を  
確認したいとき

人物を特定したいとき



エレベーターを利用した  
人物を確認したいとき

人物の行動を確認したいとき



ゴミ置き場でトラブルがないか、  
周辺の様子を見たいとき

人や物の流れを把握したいとき



駐車内の人や車の流れを  
確認したいとき



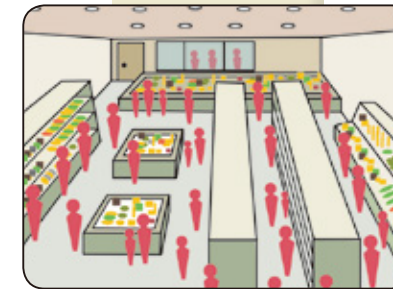
レジでやり取りをする人物、  
お金の種別まで知りたいとき



外部侵入がないか、  
出入りした人物を確認したいとき



駐車場に出入りする人物や  
車の種類・色を確認したいとき



店内の人の行動や混み具合を  
知りたいとき

バストショット



全身



周囲まで



さらに広範囲



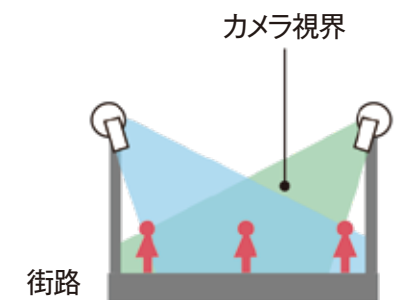
## 何を、どう撮りたいかで決まる!

防犯カメラを設置する目的によって防犯カメラに映る被写体の大きさや映る範囲を決めていきますが、防犯カメラと被写体の距離によって、映り方が変わってきます。カメラと被写体の距離が遠くなればなるほど、広範囲になり、被写体は小さく映ります。ただし、カメラを取り付けられる箇所は限られている場合が多く、被写体を大きく撮りたくても被写体の近くにカメラを設置できない場合があります。その際は、ズームできるカメラを選びます。また、近くを広範囲に撮りたい場合もあります。その際は広角で撮れるカメラを選びます。

### ●設置のポイント

**死角がないように  
設置することが大切!**

防犯カメラにはどうしても死角ができてしまいます。特にカメラの足元は死角になるため、別のカメラを配置してお互いの足元を撮影し、死角をなくしましょう。



出典:公益社団法人 日本防犯設備協会  
「防犯カメラシステムガイド VOL.2.1」

# オフィス

## 外部と内部のトラブル防止で働きやすい環境に

オフィスでは、事務所荒しや放火などの外部からの犯罪はもちろん、会社の金品や機密情報の持ち出しなど内部の社員によるトラブルも想定されます。中と外、双方のガードをかため、みんなが安心して働けるようオフィスの安全を守りましょう。

### オフィスのカメラ選び 3つのポイント

社員や来客に不快感を与えない!

ドーム型

社員が快適に働け、来客も気持ちよく迎えられるよう、ドーム型の防犯カメラで不快感を与えず、しっかり防犯対策を取りましょう。

広範囲を俯瞰して撮影

360°撮影対応

防犯はもちろん、社員の動きを把握したいという場合にも、360°撮影できる全方位カメラがおすすめです。

詳しく見たい部分にズーム!

PTZ型

PTZ型なら、何か不審な動きがあった場合、その動きを追いかけて、その部分にズームしたりして、何をしているかまで確認できます。

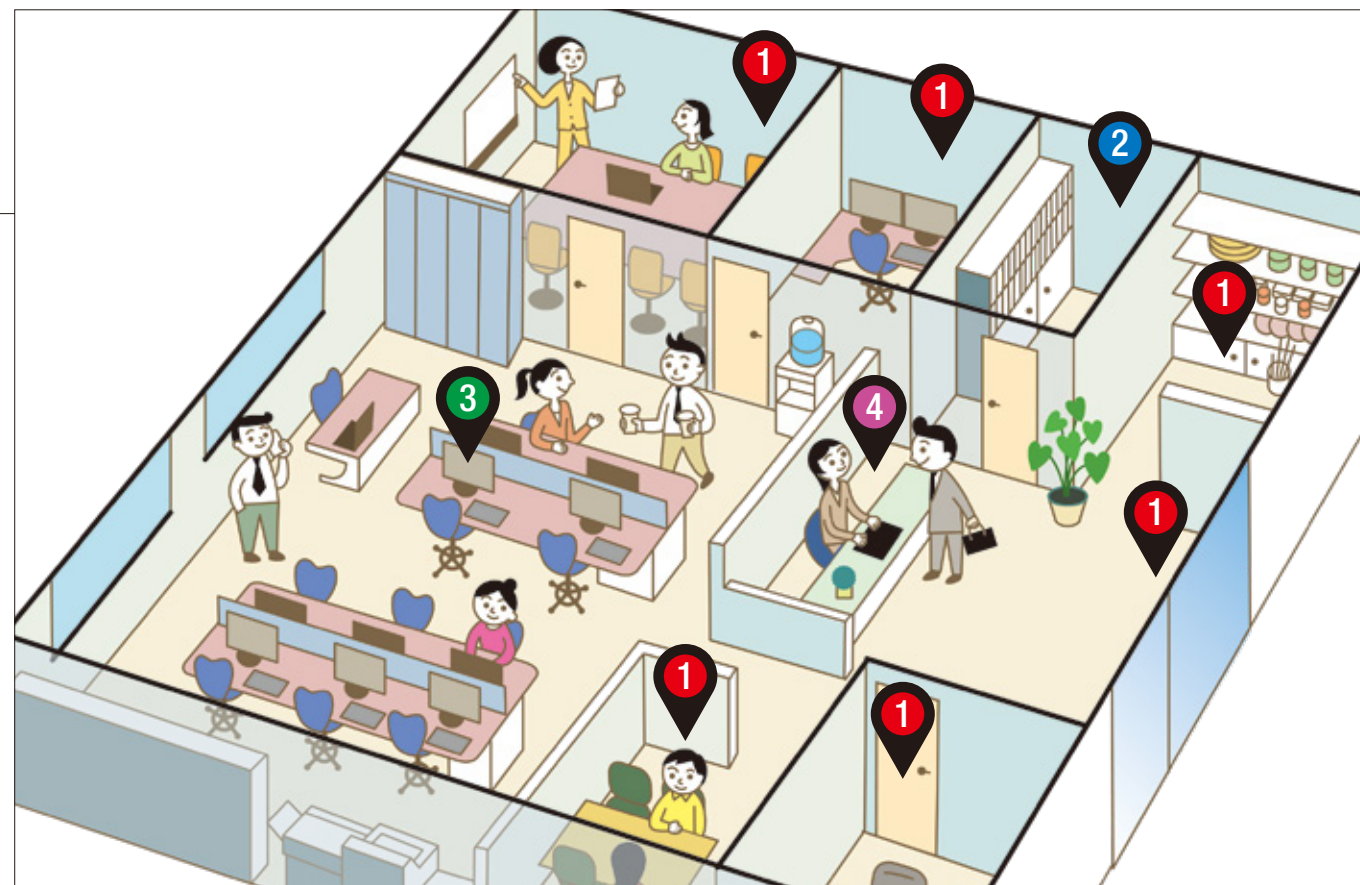
こんな活用法も!

- 複合機などのオフィス機器の適切な配置や、社員のスキル向上に役立つ。
- 本社から支社の様子を把握でき、連携がスムーズに!

### 全体と詳細、両方しっかり撮影

オフィスは、夜間や休日など無人になる時間帯があるので、侵入窃盗・放火などの犯罪に備えて、防犯カメラを設置して対策することが大切です。また、社員の勤務態度や不正などがないかも防犯カメラで確認できます。外部と内部両方の対策として、出入口の監視を強化し、各部屋に死角なく防犯カメラを設置しましょう。さらに、受付では録音もできると安心です。しかし、あからさまにカメラを設置すると社員に不快感や不信感を与えかねないので、威圧感のないドーム型が適切です。また、社員の動きを俯瞰して把握したい場合は、1台で360°

撮影できる全方位カメラが活躍します。場合によっては、自在にレンズの向きが変えられ、ズームもできるPTZ型の活用がおすすめです。たとえば、機密情報を保管している書庫などでは、平常時は室内全体をモニタリングし、動きがあった場合には、人物の動きを追いかけて、手元をアップにして見たりできるので便利です。オフィスでも新型コロナウイルス感染症対策が求められる中、防犯カメラの活用も有効です。三密にならないよう混雑検知ができ、感染者が発生した場合の接触者の確認にも役立ちます。



1  
ドーム型



社員が気持ちよく働けるように、あまり監視されていることを意識させないドーム型のカメラがおすすめです。

2  
PTZ型



金庫や機密情報など会社の財産がある場所は、PTZ型のカメラを設置し、何か不審な動きがあった場合に備えましょう。

3  
ドーム型  
(360°撮影対応)



社員の動きを俯瞰して見たい場合には、360°撮影可能なカメラの設置もおすすめです。

4  
ドーム型  
(音声録音対応)



受付では、録音し、映像だけではわからない会話の内容まで確認できると安心です。

### オフィスの防犯カメラ設置ポイント

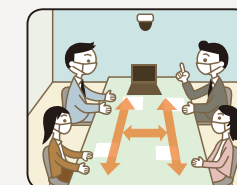
360°全方位カメラで死角なし!

オフィスに防犯カメラを設置する場合、防犯だけでなく、社員の動きをモニタリングしたいという目的もあります。どちらの場合も死角ができないように撮影することが大切ですが、そのために何台も設置すると、ドーム型でも気になってしまいます。また、その分コストがかかってしまうのも難点です。そんなときに360°撮れる全方位カメラなら、1台で広範囲が撮影できるので、設置台数を節約でき、経済的にも安心です。



### 感染症対策にも! 混雑を検知し三密回避+スピーディーに発熱検知

混雑検知機能付きカメラを活用すると、密になりがちな会議室や社員食堂などの混雑状況を把握でき、三密回避に役立てられます。また、オフィスの入口や受付などにサーモカメラを設置すれば、検温も簡単にできるので、発熱者がいた場合にも、他の社員との接触を未然に防ぐことが可能です。





# 店舗

## レジ周りのトラブルに 録音が効果的!

店舗は、万引きや強盗、レジでのお金のやり取りのトラブルなどさまざまな事件が起こりやすい場所です。さらにスタッフのミスや不正も深刻な問題です。外部からと内部からのトラブル、双方への対策として防犯カメラを設置することが有効です。

### 店舗のカメラ選び 3つのポイント

買い物客に  
不快感を与えない!

ドーム型

防犯カメラに対して、不快感や不安感を抱かれるお客さまもいるので、できるだけ目立たないように防犯できる、ドーム型がおすすめです。

映像だけではわからない  
トラブルにも対処

音声録音

レジでは、買い物客と店員の間でお釣りのやり取りなどのトラブルがよく起こります。映像+会話の音声があれば、状況を詳細に把握できるので、トラブルの早期解決に役立ちます。

店外の対策も  
しっかりと!

屋外用

店内だけでなく、店外でもトラブルや犯罪は発生します。駐車場や通用口、ゴミ箱など屋外にも防犯カメラを設置し、トラブルに備えましょう。

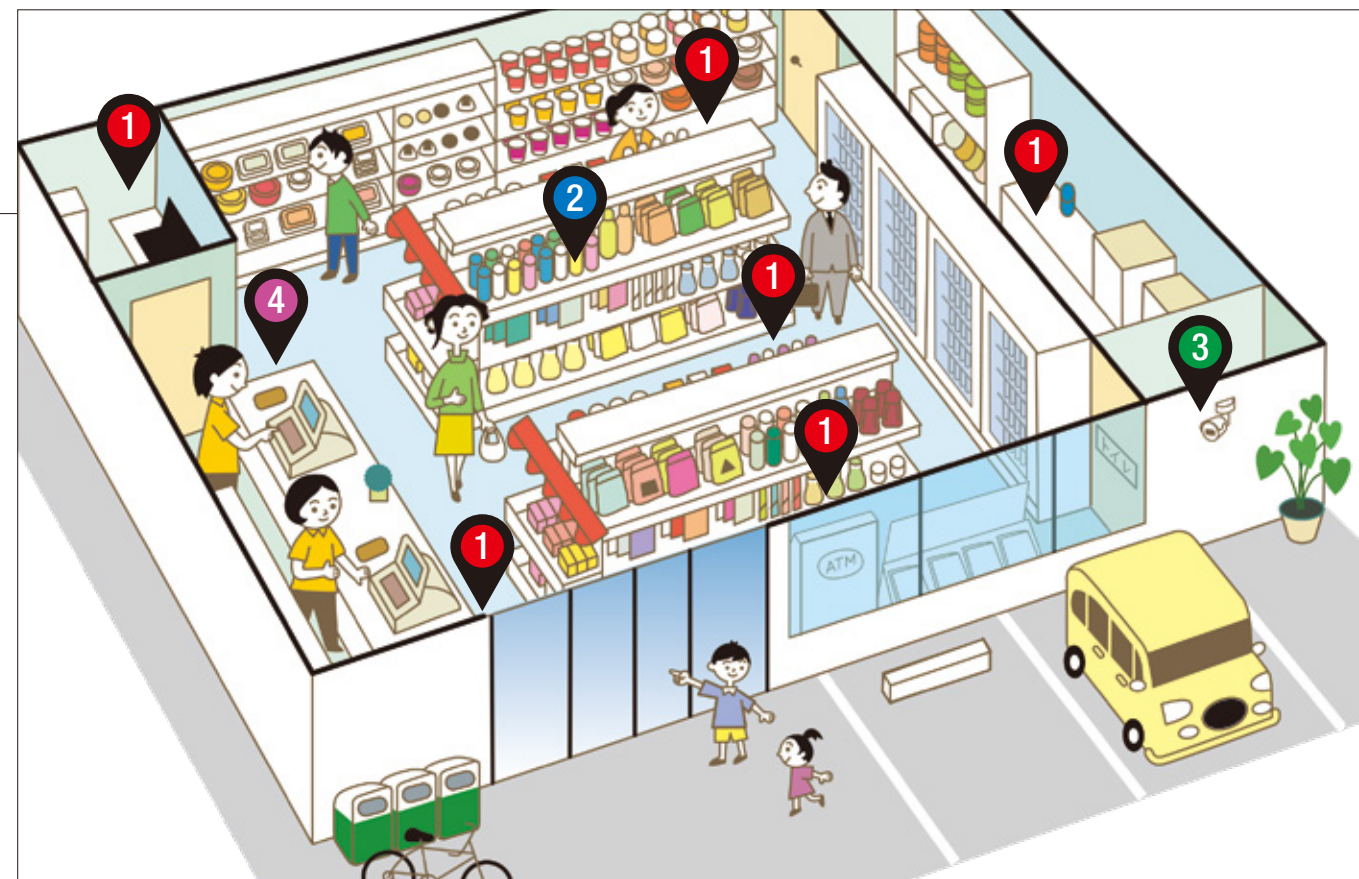
こんな活用法も!

- 陳列やキャンペーンなどの販売施策の状況や効果が確認できる。
- スタッフの適切な配置やスキル向上に貢献。

### レジやATMは特に嚴重に!

店舗では、万引きや窃盗などの犯罪だけでなく、接客トラブル、店員のミスなどに備えて、防犯カメラを適切に設置することが大切です。買い物客に不快感を与えないようドーム型の防犯カメラの設置がおすすめです。出入口はもちろん、レジやATM、陳列棚の通路ごと、バックヤードにも設置しましょう。店内の中央には、360°撮影できる全方位カメラを設置すると、店内全体を俯瞰して見られるので、来店状況や買い物客の回遊状況などが把握でき、マーケティングにも活用できます。店舗で特に気をつけたいのは、レジやATMなど現金を取り扱

う場所です。レジでは、お釣りの受け渡しなどのトラブルが起きやすいため、お金の種類までわかるように撮影します。さらに会話の内容まで録音しておく、トラブル解決に役立ちます。また、お困りの様子や不審な行動を検知するAIカメラを活用すれば、店員のスマートフォンに検知の通知が届き、「お声がけ」による顧客満足度向上や万引き防止効果が期待できます。コロナ禍においても生活必需品を求める買い物客が多く、対策が必要です。防犯カメラを活用すると発熱検知や混雑検知により入店制限管理がしやすく、遠隔での店舗管理も可能です。



1  
ドーム型



目立ちにくく、買い物客にあまり不快感を与えないドーム型。死角ができないように、出入口はもちろん通路ごとにカメラを設置しましょう。

2  
ドーム型  
(360°撮影対応)



来店状況や買い物客の回遊状況などを把握するために、360°撮影可能な全方位カメラを店内中央に設置することがおすすめです。

3  
BOX型



駐車場や通用口、ゴミ箱などは、抑止力のあるBOX型カメラを設置し、トラブルに備えましょう。

4  
ドーム型  
(音声録音対応)



レジ周りはお釣りのやり取りなどのトラブルがよく起こります。会話も把握できるように、音声録音機能付きのカメラを設置すると安心です。

### 店舗の防犯カメラ設置ポイント

レジ周りは、映像+音声で対策強化!

レジ周りでは人物の顔、お金の種類までわかるようにカメラを設置してトラブルに備えましょう。音声録音機能もあればなお安心です。POSレジと連携可能なカメラには、入出金時のカメラのデータを検索できるものもあります。

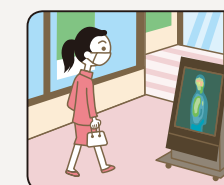
録画データをマーケティングやスタッフ教育に活用

全体を俯瞰して見られる360°撮影可能なカメラを設置すれば、買い物客やスタッフの動きも確認でき、スタッフ教育やマーケティングにも活用できます。



感染症対策にも! 発熱検知・混雑検知でウイルスを持ち込ませない

店舗は不特定多数の人が出入りするため、ウイルスを持ち込まないことが大切です。入口にサーモセンサーやサインを設置すれば、非接触で発熱者が検知でき、感染リスクを軽減できます。また混雑検知機能付きカメラを活用すると、混雑状況をWebで公開でき、お客さまに安心してご来店いただけます。





# 飲食店

## 撮影店内をくまなく撮影。 +録音で安心!

「お釣りが間違ってますよ」……

飲食店では、犯罪だけでなく、お客さまと店員間のトラブルがよく起こります。

お客さまに快適にお食事を楽しんでいただき、トラブルを防ぐために適切に防犯カメラを設置しましょう。

### 飲食店のカメラ選び 3つのポイント

お客さまに不快感を  
与えず、防犯

ドーム型

防犯カメラに対して、不快感や不安感を抱かれるお客さまもいるので、できるだけ目立たないように防犯できる、ドーム型をおすすめします。

録音して  
接客トラブルにも対応

音声録音

レジでのお釣りのやり取りなど、お客さまと店員間のトラブルには、映像だけでなく会話の音声を録音しておく、トラブル解決の大きな手助けとなります。

死角をなくし、  
効率よく撮影

360°撮影対応

360°撮影できる全方位カメラなら、1台で広範囲をカバーできるので、設置台数を節約できます。

こんな活用法も!

- 時間帯による客の入り具合や客層などが把握でき、マーケティングに生かせる。
- スタッフの適切な配置やスキル向上に貢献!

### 効率重視。防犯にも経営にも貢献

飲食店では、侵入窃盗、無銭飲食、お客さまと店員のトラブル、お客さま同士のトラブルなど、いろいろなトラブルが起こる可能性があります。その際、防犯カメラの映像は、解決の大きな助けになります。営業中は、店内でトラブルなどがなく状況を確認し、無人になる閉店後は防犯カメラでしっかりと防犯対策をしましょう。録音できるカメラもあるので、お釣りのやり取りがあるレジでは会話の内容まで確認できると、安心です。しかし、防犯カメラを設置すると不快に感じるお客さまもいるので、景観になじみやすいドーム型を設置します。

トラブルを見逃さないためには、店員の目の届かないところまで死角なく撮影することが大切です。360°撮影できる全方位カメラなら1台で広範囲をカバーできるので、設置台数を節約でき、その分費用も抑えられます。

防犯カメラ映像はマーケティングやスタッフマネジメントにも活用できるので、経営のサポートにも役立てられます。また、飲食店ではコロナ禍における感染症対策が必須です。発熱検知で発熱があるお客さまを入店前に発見したり、店内が密にならないよう混雑検知したりと、防犯カメラを活用しましょう。

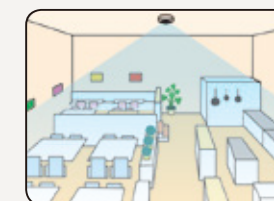


<p><b>1</b> ドーム型</p>  <p>お客さまに不快感を与えにくいドーム型カメラ。レジ周りや店内だけでなく、キッチンや事務室にも設置すれば、トラブル発生時に安心です。</p>	<p><b>2</b> ドーム型 (360°撮影対応)</p>  <p>360°撮影可能なカメラを設置すれば、席の状況を確認できるだけでなく、お客さまや店員の動きを俯瞰して確認することができます。</p>	<p><b>3</b> ドーム型 (音声録音対応)</p>  <p>レジ周りはお釣りのやり取りなどのトラブルが起こるため、会話まで確認できるよう音声録音対応カメラの設置がおすすめです。</p>
--	---	---

### 飲食店の防犯カメラ設置ポイント

360°撮影対応の全方位カメラで、死角なく撮影

飲食店では、スタッフは接客対応をしていて常に店内隅々まで気を配ることは難しいので、カメラで死角なく撮影することが大切です。店内をくまなく撮影しておく、お客さまの入り具合や客層なども掴め、マーケティングに活用できます。同時に、スタッフの動きもわかるので、スタッフの配置数に過不足はないか、接客対応に問題がないかなど、スタッフマネジメントにも役立ちます。店内だけでなく、レジやキッチン、事務室にもカメラを設置して、トラブル時にも対応できるように備えましょう。



### 感染症対策にも! 混雑情報のWeb公開や発熱検知で感染拡大防止

混雑検知により混雑状況を把握し、さらにWebで公開することで三密回避に役立ちます。サーモセンサーサイネージを入口に設置すると、発熱検知機能により体温がサイネージに表示され、検温がスムーズに行えます。防犯カメラがあれば店舗の監視が遠隔で行えるので接触回避にも貢献します。





# マンション・寮

## 住人に威圧感を与えず、 しっかり防犯

マンションはプライベートな空間でありながら、来客や宅配業者など多くの人の出入りもあります。オートロックのマンションも増えていますが、それがかえって油断を招いてしまうことも……。オートロック+防犯カメラでガードを固めましょう！

### マンション・寮のカメラ選び 3つのポイント

住人を威圧せず、  
共用スペースを防犯

ドーム型

マンションや寮はプライベートな住空間です。共用スペースでも住人に威圧感を与えないよう、目立たず防犯できるドーム型カメラを設置しましょう。

屋外の防犯も  
抜かりなく！

屋外用

駐車・駐輪場での盗難・トラブルや外部侵入に備え、屋外の防犯も確実に。カメラがあると、不審者などが近づきにくくなります。夜間も撮影可能な暗視機能もお忘れなく。

エントランスを  
鮮明に撮る！

逆光対応

エントランスは、出入りした人物を確実に押さえたところです。逆光による白飛び・黒つぶれが起きやすいので逆光対応カメラが◎

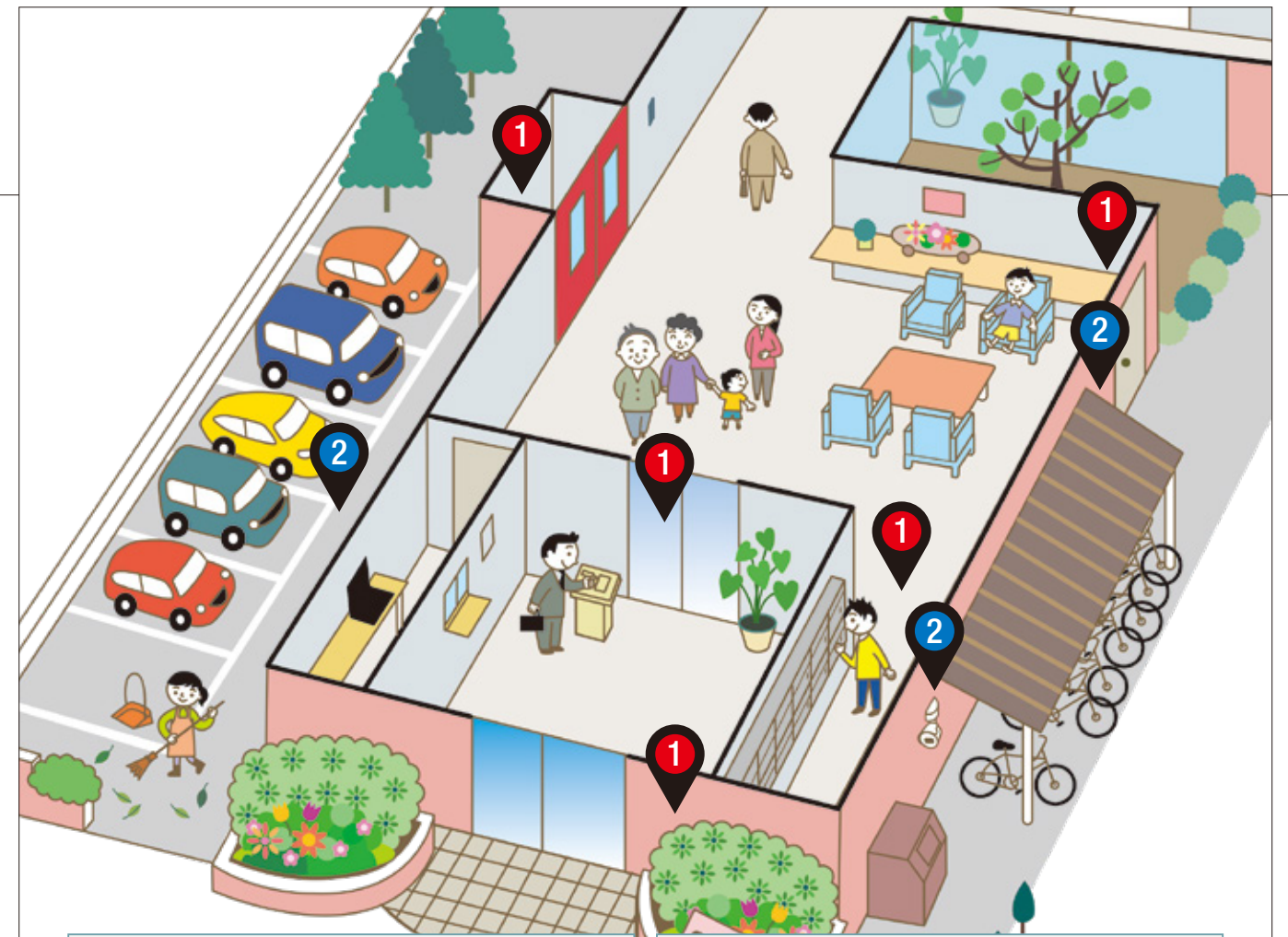
こんな活用法も！

- 「安全・安心」なイメージから評価が上がり、入居率アップが期待できる！
- 不要なポスティングや悪質な訪問販売の抑制に役立つ。

### 見守り・威圧 メリハリ防犯

マンションや寮は、そこに住む人々が安心して暮らせる空間でなくてはなりません。オートロックマンションも増えていますが、その安心感からかえって油断を招いてしまうこともあります。エントランス、廊下、エレベーターなどの共用スペース、そして駐車・駐輪場など設置ポイントはたくさんあります。しかし、それだけたくさんのカメラを設置すると不快に感じる住人の方もいるので、目立ちにくいドーム型で見守るように撮影するのがおすすめです。駐車場のいたずら防止やゴミ出しのマナーを見張りたい場合は、あえてBOX型を設置して威圧するの

も手です。屋外に設置する場合は、防水・防塵、夜間も撮影できる屋外用のカメラを設置しましょう。マンション等でよくあるトラブルとして、エントランスの映像が逆光で見づらいということがあります。逆光対応のカメラは、明るい部分と暗い部分を合成して、鮮明な映像に補正します。逆光対応カメラで死角を減らしましょう。防犯カメラがあれば管理人が常駐しなくても監視ができるため、人員やコストが削減できるだけでなく、コロナ禍においては、遠隔監視により接触回避でき、感染症対策にも貢献します。



#### 1 ドーム型



住人に威圧感を与えるのを避けるため、ドーム型カメラの設置がおすすめです。

#### 2 BOX型



駐車場のいたずら防止やゴミ出しのマナーを見張りたい場合には、あえて抑止力のあるBOX型カメラを設置するのもおすすめです。

### マンション・寮の防犯カメラ設置ポイント

インテリアや雰囲気  
損なわないように

最近では、デザイナーズマンションなどインテリアや雰囲気にこだわった物件が増えているので、イメージを損なわないように、目立ちにくいドーム型がおすすめです。

ステッカーで犯罪抑止効果を強化！

出入口や駐車・駐輪場、ゴミ置き場など犯罪・いたずらを特に抑止したい場所には「防犯カメラ作動中」のステッカーを併用すると効果が高まります。また、マンションや近隣住民などに防犯目的でカメラを設置していることを周知する意味でもステッカーの設置は大切です。



### 感染症対策にも！ 遠隔監視によりウイルスの持ち込みを防止

インターネットに接続して映像を確認するクラウド型カメラなら、遠隔で現地の映像をパソコンなどで確認できます。管理者が現地に行かずに済み、管理者と住民双方の接触機会が軽減できます。またマンションの共有施設に混雑検知機能付きカメラを設置すれば、混雑状況を住民にWeb公開もできます。





# 駐車場

## 人物・車の種類ナンバーまで しっかりと押さえる!

駐車場には、屋内と屋外があり、大きさもさまざまです。どのようなケースでも、防犯カメラの選び方の基本は同じ! 無人の駐車場や大規模で管理人の目が行き届きにくい場合、防犯カメラは強い味方です! 適切なカメラを選択・設置して、対策に取り組みましょう。

### 駐車場のカメラ選び 3つのポイント

暗い場所でも  
くっきり!

暗視機能

屋外駐車場には、防塵・防水の屋外用カメラを設置します。夜間のトラブルや犯罪に備えて、暗闇でも撮影できるカメラを選びましょう。屋内でも地下駐車場など暗い場合は、暗闇でも撮れるカメラを選びます。

人と車の動きを  
くまなく把握する!

PTZ型

人や車の出入りが多い駐車場では、その動きを見逃さないことが大切です。1台でいろいろな向きを撮影できるPTZ型カメラが有効です。

逆光による白飛びや  
黒つぶれを防止

逆光対応

屋外や駐車場の入り口などは逆光により、人や車が見えなくなることがあります。逆光対応のカメラで対策を取りましょう。

こんな活用法も!

- 空き状況をリアルタイムで確認、情報公開もできる!
- 駐車場の回転率が把握でき、適切な運営をサポート。

### 車の情報を的確に捉える!

駐車場では、場内での事故、自動車を狙ったいたずらや盗難、精算機へのいたずら・盗難などさまざまなトラブルが想定されます。そのようなトラブルが発生した場合に重要な手がかりとなるのが防犯カメラの映像です。特に車の種類、色、ナンバーは犯人特定に大いに役に立ちます。

駐車場にもさまざまありますが、どのような駐車場にもまず言えることは出入口の対策をしっかり行うことです。出入りした人物や車が特定できるようにカメラを設置しましょう。人や車の動きを逃さないためには、広範囲を撮影できるカメ

ラが有効です。レンズの向きを上下・左右に変えていろいろな方向を撮影できるPTZ型が適しています。PTZ型は、追従やズームが自在にできますが、その間他のところは映らないので、BOX型カメラを全体に配備しておく安心です。また、夜間や逆光などにも対応したカメラを選び、見たいところが見えないということがないように設置しましょう。駐車場の管理は有人で行う場合もありますが、コロナ禍においてはできるだけ接触を回避することが大切です。防犯カメラを活用し、遠隔監視を行うことで感染症対策にもなります。



1

BOX型



抑止力のあるBOX型カメラを設置し、不審な人物の侵入や犯罪、いたずら等を防ぎましょう。特に出入口では駐車場に出入りする車のナンバー、ドライバーの面相、料金支払い状況などを確認できる位置に設置することが大切です。

2

PTZ型



PTZ型カメラを駐車場の中央に設置することで、広い駐車場を効率よく監視できます。必要に応じてレンズを上下左右に動かし、ズームなどもできるので、見たい場所を選んで監視することができます。

### 駐車場の防犯カメラ設置ポイント

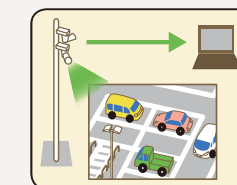
出入口(ゲート)周辺の対策を厳重に!

不特定多数の車や人物が進入してくる出入口は、最重要箇所です。まず出入口に防犯カメラが設置してあると、それだけで不審な人物は近づくことをためらうので、犯罪やいたずらを抑止できます。トラブルが起きた場合には、出入りする犯人や車の映像をきちんと押さえていけば、事件解決のための大きな手がかりとなります。また、有料駐車場の場合、出入口ゲートに精算機が設置されていることが多いので、精算機を狙ったいたずら・盗難防止のためにも、出入口の対策を強化しましょう。



感染症対策にも! 遠隔監視により接触を回避できて安心

インターネットに接続して映像を確認するクラウド型カメラを選べば、遠隔で駐車場の映像をパソコンなどで確認ができます。コロナ禍においては、人との接触機会を減らすことが大切です。管理者が現地に足を運ばないで済むので、管理者だけでなく、利用者にとっても接触機会の軽減につながります。





# 商店街

## 死角をつくらず 多くの通行人を見逃しなく！

商店街は、誰でも自由に出入りでき、たくさんの方が行き交う場所です。  
そのため、危険な人物も紛れ込みやすく、犯罪やトラブルが起きやすい場所でもあります。  
買い物客が安心して通行できるよう、防犯対策を徹底しましょう！

### 商店街のカメラ選び 3つのポイント

夜間も  
しっかり撮影！

暗視機能

商店街のアーケードは屋根がない場所や雨風が吹き込む場所があるため、屋外に設置できるカメラを選びます。夜、暗くなっても撮影できる暗視機能付きカメラを選びましょう。

お客さまに  
威圧感を与えない！

ドーム型

商店街には、買い物を楽しむお客さまに不快感を与えないドーム型が適しています。一方、撮影している方向がわかりづらいため、不審者に対しては警戒心を与えられます。

犯罪抑止を  
重視！

BOX型

BOX型は見た目に威圧感があるので、あえて防犯カメラを設置していることをアピールすることで、犯罪やいたづらを抑止できます。

こんな活用法も！

- 「安全」「安心」ということがPRでき、商店街のイメージアップに！
- 人の流れや時間帯による混み具合等が把握でき、マーケティングに活用。

### 24時間安心できる商店街に！

商店街は、子どもから高齢者まで誰でも利用できる地域に開かれた場所です。不特定多数の人が通行するため、けんかやいたづらといったトラブルや人混みに紛れて万引きやひったくりなどの犯罪が起きやすい場所です。また、夜間はシャッターが下り、人通りが少なくなるため落書きや店舗への侵入窃盗、放火などの犯罪の危険性があります。そのため、24時間防犯対策が必要です。

防犯カメラの設置は対策のひとつとして有効ですが、一般のお客さまの中には、防犯カメラで撮られることを不快に感じ

る方もいます。カメラの存在を意識させないドーム型を選ぶことで買い物客に不快感を与えずに防犯できます。落書きやゴミの不法投棄を防止したい場所には、あえて存在感のあるBOX型のカメラを設置して威圧するのも効果的です。いずれの場合も、屋外用の夜間撮影可能なカメラを選び、24時間体制で防犯することが大切です。コロナ禍においても、食料品や生活必需品などの買い物は避けられません。防犯カメラで遠隔監視し、混雑検知や発熱検知を活用して、商店街での感染予防に役立てましょう。



#### 1 ドーム型



商店街の中は目立ちにくいドーム型カメラを設置し、買い物を楽しむお客さまに不快感を与えないようにしましょう。

#### 2 BOX型



出入口は抑止力のあるBOX型を設置し、不審者の侵入などを防ぎましょう。落書きやゴミの不法投棄などを防ぎたい場所にもおすすめです。

### 商店街の防犯カメラ設置ポイント

#### 出入口を徹底的にマーク！

出入口には防犯カメラを設置し、危険人物が入らないようシャットアウトします。また、人物の顔や特徴がはっきり映るようにカメラを設置・設定します。



#### 対向設置で死角をなくす

防犯カメラの足元は死角ができてしまうので、反対側にも防犯カメラを設置し、お互いの足元を撮影することで死角をなくすことができます。



#### 感染症対策にも！ 混雑状況や体温をサイネージでひと目で確認

混雑検知機能を活用し、混雑状況のアラートをサイネージに表示することで買い物客へ注意喚起ができます。あわせてサーモセンサーサイネージを設置すると、発熱検知機能により体温が表示され、検温が迅速に行えます。また、防犯カメラで店内を遠隔監視できるので、接触回避にも役立ちます。

